

# 社協だより

編集と発行／社会福祉法人 田子町社会福祉協議会  
電話 32-4045 FAX 32-4085 メールアドレス syakyou@bz01.plala.or.jp  
ホームページアドレス http://takko-syakyo.jp/

## 主な内容

- 寄りあいっこ ..... 1
- 赤い羽根共同募金開始のお知らせ  
..... 2、3
- 田子町地域福祉活動計画のご紹介  
..... 4、5
- いきいき通信 ..... 6
- 苦情受付案内 ..... 7
- 各種ご案内 ..... 8



## ウミガメさんこんにちは ～寄りあいっこで水族館見学～

9月21日、会食交流事業「寄りあいっこ」を開催しました。

この日は43名が参加。青森県営浅虫水族館を訪れ、ウミガメにペンギン、オットセイにクラゲ、色鮮やかなサンゴ礁の魚の他、身近に食卓にあがるイワシやタイなど、様々な海の生き物を間近に見て楽しみました。トンネル状の水槽を抜け、海の中を歩いているような気分で、頭の上を通り過ぎる魚たちに見入りつつ、参加者からは「キレイだね、かわいいね」「ペンギンうちで飼いたいな～」「おいしそう(?!)」と、いろいろな感想がとび出しました。

メインのイルカショーでは、3頭のイルカがダイナミックなジャンプを連続で披露。トレーナーさんとの息の合った演技が決まるたびに拍手と歓声があがり、最後は佞武多囃子の「ラッセーラ」の掛け声と手拍子で大迫力のイルカショーを満喫していました。



みんな記念撮影<sup>21日</sup>

この社協だよりは社協会費と共同募金配分金により発行しています。

# じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。

10月1日から12月31日まで全国一斉に赤い羽根共同募金が始まりました。

赤い羽根共同募金は募金が集まってから使い道を決めるのではなく、あらかじめ使い道の計画を立てて行う計画募金です。福祉協力員（募金ボランティア）の方が募金のお願いに伺いますので、ご協力お願いいたします。

昨年度は1,341,194円の募金を皆さまからお寄せいただき、そのうち約70%にあたる1,000,000円が今年度の事業に配分されています。また、残りの30%は県内の地域福祉に助成されています。

## 共同募金運動に関する Q&A

**Q1. 税金を払っているのに、なぜ、共同募金をする必要があるのですか？**

A1. 行政では私たちの税金で公平に、法令等の基準に基づき効率的に施策を行っています。しかし、特定の地域に対する支援の要望や早急な対応が求められた場合には対応しにくいことがあります。社会福祉の現場では、日々その対応が変わり多様化した要望にきめ細かく対応することが求められています。そうした場合、臨機応変に対応できるのが民間活動であり、民間の特性である迅速性、柔軟性、先駆性、開拓性を生かすための財源として共同募金は欠かすことのできないものなのです。

**Q2. なぜ家庭で募金したのに、職場や街頭でも募金するのですか？**

A2. 共同募金は一人ひとりにご協力いただくことをめざしている運動です。多くの方は、福祉にふれる機会が少ないと思われていますが、ボランティア活動への関心や地域に貢献する気持ちは誰もが持っていることと思います。共同募金は、誰でも身近で手軽にできる地域福祉参加の機会といえます。ですから、より多くの方々に参加できる機会を提供できるように様々な方法を提示しているのです。お父さんは職場で、お母さんは家庭で、お子さんは学校で、お年寄りや老人クラブを通じて…いろいろな機会での募金協力を呼び掛けていますので、個人が何回も募金を求められることが多々ありますが、どこかで協力いただければよいと思います。積極的に運動へご参加いただけることを願っています。

**Q3. 善意の募金なのに、なぜ金額を割り当てるのですか？**

A3. 田子町共同募金委員会では募金の「目安額」をお示ししていますが、共同募金は決して金額を割り当てる募金ではありません。

事前に助成計画を立て、その計画に基づいて目標額を定めていますが、皆さまが募金いただくにあたっては、任意でご協力いただければ結構です。

「じぶんの町を良くする」ために、どれくらい協力したらいいのかわからない場合の「目安」としてお考えください。

平成30年度

目標額 **1,200,000** 円



**平成31年度実施事業**

社協だよりの発行



福祉協力校助成



社会福祉大会



専門相談



**災害義援金募集のお知らせ**

平成30年北海道胆振東部地震並びに平成30年7月の台風7号及び前線等に伴う大雨により被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

田子町共同募金委員会では下記のとおり災害義援金を募集しております。田子町共募で受け付けた義援金は青森県共同募金会へ送金されたのち、全額被災県共同募金会に送金されます。

1. 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金
2. 兵庫県平成30年7月豪雨災害義援金
3. 山口県平成30年7月豪雨災害義援金
4. 愛媛県豪雨災害義援金
5. 平成30年7月福岡県豪雨災害義援金
6. 平成30年7月豪雨災害義援金（京都府）
7. 平成30年7月広島県豪雨災害義援金
8. 平成30年7月豪雨岡山県災害義援金
9. 平成30年7月豪雨災害義援金（中央共募）

また、平成28年熊本地震義援金も引き続き受付けておりますのでご協力よろしくお願いたします。

詳しくは田子町共同募金委員会（田子町社会福祉協議会内：☎0179-32-4045）までお問い合わせください。

7月に上郷小学校で行われた青森ワッツとの交流による福祉教育の様子が今年度の青森県共同募金会のチラシに掲載されました。

このチラシは募金の協力のお願いととも、全世帯に配布されます。

「ありがとう」  
あなたに伝えたい

あなただけの「募金」が、  
どれだけの「ありがとう」につなげてくれるか。  
たくさんの「ありがとう」が募金を支えます。

赤い羽根共同募金

社会福祉法人 青森県共同募金会  
http://akaihane-aomori.or.jp/

まちがいさがし（8ページ）の7つのちがい

- ・台の上のネコ
- ・三角コーンの色
- ・愛ちゃんのまつ毛の数
- ・ポニーテールの女の子の影
- ・右下の男の子の帽子の形
- ・右上の先生のネクタイ
- ・希望くんの口

# 田子町地域福祉活動計画のご紹介

※地域福祉活動計画とは…

社協が呼び掛けて、住民、地域において社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を運営する者が相互に協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

## 基本理念

『みんなでつくる心のかようなやさしい福祉のまち』  
～自助・互助・公助と共同で高める地域の福祉力～

## 計画期間

2018年4月1日～2023年3月31日（5年間）

## 策定の趣旨

近年、様々な分野で「地域の力」への期待が高まり、生活全般に関わる課題について、地域住民が自ら取り組み、解決の主体になることが期待されています。

田子町社会福祉協議会は、住民が主体となって活動を行うための参加計画として、平成10年に第1次田子町地域福祉活動計画を策定し、町及び住民とともに地域福祉の推進を図ってきました。

また、平成20年度から平成29年度までにかけては、第2次田子町地域福祉活動計画を策定し、社会情勢の変化による見直しを行いながら事業に取り組んでまいりました。

平成30年は社会福祉法の改正により「住まい」「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に提供できるネットワークづくりを進める地域包括ケアシステムの推進がより求められ、更には同年改定となった介護報酬においてもシステム推進のために医療と介護の連携や高齢者の自立支援、重度化防止の強化が求められました。

このような中、第3次田子町地域福祉活動計画は、第2次地域福祉活動計画を引き継ぎながら、多様化・複雑化している福祉課題・生活課題を住民ひとりひとりが把握し、その解決に向けた取り組むべき方向性を示すものとして策定したものです。

## 計画の位置づけ

この計画は田子町が策定した「田子町地域福祉計画」との整合性を図り、連携しながら地域福祉の推進を図るものです。

第3次田子町地域福祉活動計画は田子町社会福祉協議会のホームページから  
ページからも見ることができます。  
<http://takko-shakyo.jp/>



## 基本計画1 住民参加と小地域ネットワーク活動 の推進

### ◆重点推進項目◆

- ①地域住民の主体的活動の推進
- ②当事者の社会参加の促進
- ③福祉課題の把握



ほのぼの協力員・福祉安心電話協力員合同研修会

## 基本計画2 地域福祉サービスの推進

### ◆重点推進項目◆

- ①介護保険事業等の運営
- ②地域福祉活動の推進



ふれあい・いきいきロンの実施

## 基本計画3 福祉教育・ボランティア活動の推進

### ◆重点推進項目◆

- ①福祉教育の推進
- ②ボランティア活動の推進



福祉協力校の指定

## 基本計画4 福祉情報の提供・総合相談 生活支援機能の充実

### ◆重点推進項目◆

- ①福祉情報の提供
- ②相談体制の確立
- ③生活支援体制の確立

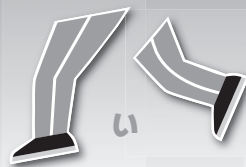
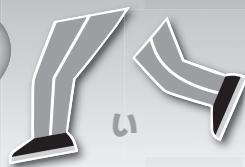


社会福祉大会の実施

## 基本計画5 社協基盤の充実強化

### ◆重点推進項目◆

- ①社協組織の強化
- ②職員体制の強化
- ③財政基盤の整備



## 老人スポーツ大会田子町で開催



緊張の一打

9月12日、農業者トレーニングセンターにて第40回三戸郡老人スポーツ大会が行われました。この大会は毎年三戸郡内町村の持ち回りで行われており、田子町では6年ぶりの開催となりました。

今年は新郷村が不参加となりましたが、5つの町から約270名の老人クラブ会員が一堂に集い、10個の種目により熱戦が繰り広げられました。田子町からの参加者は地元開催ということもあり、前日に練習をして臨みました。結果は5位でしたが、怪我などもなく楽しみながら交流を深め大会を終えることができました。

## ご協力ありがとうございました！



雨の中ご協力いただきました

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。運動開始に先立ち、田子町共同募金委員会では9月30日に町内で行われた「にんにくとべごまつり」会場にて募金活動を行いました。会場には町内外から多数の来場者があり、大勢の方から募金にご協力いただきました。

赤い羽根共同募金は12月31日まで全国の様々な場所での協力を呼び掛けていますので、積極的な運動への参加をよろしくお願いいたします。

## 平成30年7月豪雨被災地への支援にあたって

青森県社会福祉協議会からの派遣要請を受け、本会職員が平成30年7月豪雨により被災した広島県東広島市の災害ボランティアセンターへ支援に入りましたので報告します。

派遣者：武岡義和（介護支援専門員）

派遣期間：平成30年8月15日～平成30年8月21日



平成30年7月に発生した西日本豪雨災害に伴い、全国ブロック派遣として東広島災害ボランティアセンターの運営を支援しました。

担当業務としては、車輛機材班に配属され、災害ボランティアセンターと活動現場との間でボランティアの送迎や、機材の搬入出を行うほか、ボランティアと一緒に土砂撤去等の現場作業も行いました。

東広島災害ボランティアセンターの運営状況としては、受付ニーズ513件に対し、489件が完了しており、95.3%といった高い完了率となっています。（8月20日時点）このため、災害ボランティアセンターとしても収束に向けての作業に入っている状況であり、全国ブロック派遣も当初の予定より1クール早く、8月25日に終了することとなりました。

今回の災害ボランティアセンターの運営支援を通じ、災害時における災害ボランティアセンター運営の手法や注意点等を再確認することができました。また、災害はいつ発生するか分からないため、災害時を想定したボランティアセンター運営の定期的な研修や、災害ボランティアセンターを運営していく社協職員として、職種に関係なくすべての職員が運営について熟知・共有しておく必要があると改めて感じました。

※社会福祉協議会では全国社会福祉協議会並びに青森県社会福祉協議会からの要請により被災された地域へ職員を派遣し、被災地の社協及び被災県内の市町村社協職員と連携・協力して、災害ボランティアセンターの運営（ボランティアコーディネート、被災された方々からの支援ニーズ受付、支援ニーズとボランティアの方々のマッチング、地域ニーズの調査等）を行っています。

# ご意見・ご要望をお寄せください

田子町社会福祉協議会では、皆様から寄せられたご意見・ご要望に真剣にお応えします。

## サービス利用者・ご家族

### ～ご意見・ご要望～

基本は担当者が直接受付いたしますが、申し出にくい場合は、せせらぎの郷正面に要望ボックスもございますので、こちらにご投函ください。



申し出にくい場合は、第三者委員に申し出ることもできます。

## 第三者委員

|     |    |       |         |
|-----|----|-------|---------|
| 森   | 榮子 | (西館野) | 32-3708 |
| 一ノ渡 | 尚武 | (北側)  | 32-2011 |
| 月館  | 勝男 | (遠瀬)  | 33-1967 |
| 川上  | 幸子 | (七日市) | 32-2223 |
| 中村  | 見俊 | (道前)  | 33-1443 |

## 苦情受付担当者

田子町社会福祉協議会 32-4045

### ～苦情の報告・確認～

受け付けた内容を責任者と第三者委員に報告します。

## 平成29年度の苦情・要望件数

|          |    |
|----------|----|
| サービスの質や量 | 5件 |
| 職員の接遇    | 2件 |
| 説明・情報提供  | 3件 |
| その他      | 4件 |

## 苦情解決責任者

中村康孝(下本町) 32-3052

### ～解決に向けた話し合い～

申し出人と話し合いを行います。

14件の貴重なご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。その他、軽微なものについては日々対応し、全て解決しております。

社協で実施している事業について、皆様方のご意見を真摯に受け止め、さらなるサービスの質の向上を目指してまいります。

## サロン活動でいきいき!

## 「居場所づくり」ふれあい・いきいきサロンのおすすめ

田子町社会福祉協議会では、ふれあい・いきいきサロンを勧めています。サロン活動に参加することによって日々の楽しみが増し、介護予防にもつながります。昨年度は町内25の地区で開催され、延1,705名の参加がありました。皆さんの地区でもサロン活動をしてみませんか。

ふれあい・いきいきサロンは定期的開催することにより以下の効果があげられます。

- ・閉じこもりを防ぐ
- ・認知症予防
- ・生きがいづくり
- ・地域づくり(人と人のつながりを深め、防災活動にも役立ちます)

サロン活動のために1人当たり300円の助成をしていますので、社会福祉協議会へお問い合わせください。(田子町地域介護予防活動支援事業からも助成があります。)

問い合わせ先 田子町社会福祉協議会 32-4045



# 第52回田子町社会福祉大会のお知らせ

町の社会福祉発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、町民の福祉意識の高揚と地域福祉の推進を図るため、第52回田子町社会福祉大会を開催します。今年は遺品整理士の花輪隆俊氏を招いてのご講演をいただきます。ご近所お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

日時 平成30年11月21日（水） 10時25分  
場所 田子町中央公民館  
日程 10：25 開会  
10：30 講演  
トータルプロデュース モコ  
代表 花輪隆俊氏（遺品整理士）  
12：00 昼食休憩  
12：50 式典  
13：30 チャリティバザー

花輪 隆俊 氏

県内初の遺品整理士。  
自身が代表のトータルプロデュースモコにおいて県内を中心に遺品整理や特殊清掃業を行い、多くの死と向き合う中で、地域のコミュニティーや見守りの重要性、生前整理の必要性などを訴えるため積極的に講演活動をしています。



## 【チャリティバザー用品提供のお願い】

今年もバザーを開催し、売上金を田子町の社会福祉活動に活用したいと思っておりますので、バザー用品の提供についてご協力をお願いいたします。



ご提供いただきたいもの  
◆シーツ・毛布 ◆農産物等の食品（賞味期限内）  
◆せっけん・洗剤・バスタオル・食器などの日用品 など

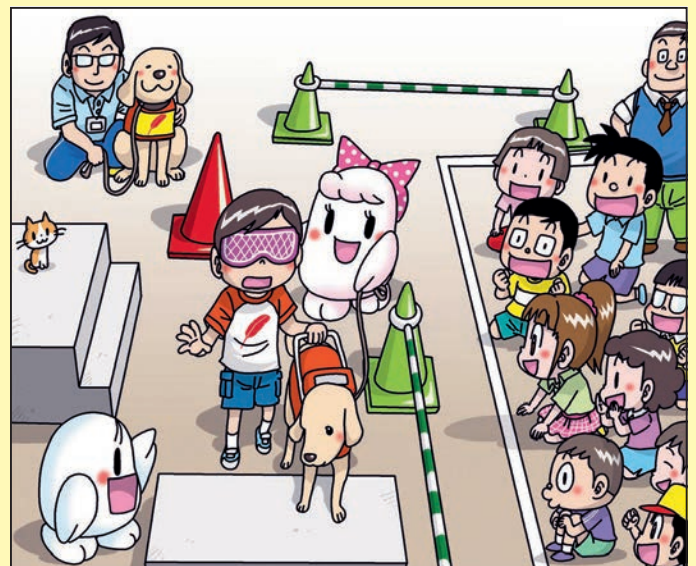
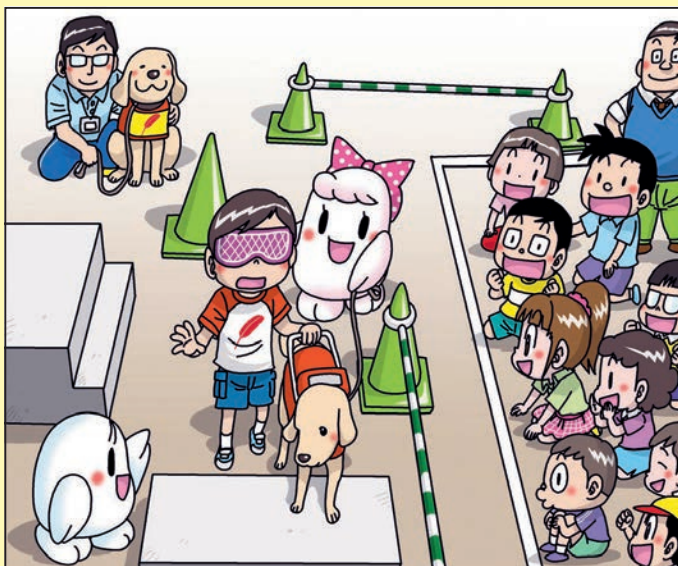


ご提供品は直接社協へお届けくださるか、お電話をいただければこちらからお伺いします。

お問合せ先 田子町社会福祉協議会 TEL 0179-32-4045

## まちがいさがし

2つの絵には違う所が7つあるよ。全部わかるかな？



<正解は3ページにあります。>